

カリキュラム

機構施設名： 岡山職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社 広島テクノプラザ

A:生産管理	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
生産・開発計画	

コースのねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 製造業を取り巻く環境 ① 今後の製造業の中長期的な展望 ② 労働力の減少、働き方改革時代の製造業の課題 (2) 企業経営とは ① 製造業における企業経営の要点 ② 生産性向上への取組みの重要性について (3) 製造業全体の仕組みと各部門の役割 ① 生産方式の種類 ② 人、もの、時間の管理 ③ 生産計画と生産統制 (4) 製造業における各部門の役割 製品企画・開発、生産、販売等のライン部門及び生産技術、生産管理、調達、品質管理などのスタッフ部門の機能を紹介し、自社の各部門の役割を理解する。 【演習】 自社(又はケース事例)の業務の可視化とQCDに関するディスカッション ものづくりの仕組みを業務フローとして可視化し、QCDのポイントについて課題を共有する。	2.0
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 製造業のQCD・SM QCD・SMの基本的な考え方について把握する。 (2) 生産管理の仕組み ① 生産管理の役割と機能 ② 生産管理の4M(Man, Material, Machine, Method)とは ③ 4Mの管理の基本 (3) ものづくり現場の5S ① 5S活動推進のポイント ② 生産性向上のための5S活動とは (4) 原価と利益 簡易的な損益計算書のモデルを用いて製造原価と利益の構造を理解する。また、製造原価の増減が利益に与える影響を理解する。	2.0
	3	ものづくりに関する業務改善	(1) 改善活動の基本 ① 三現主義 ② 問題解決のためのロジカルシンキング ③ やってみて考える"DCAP"サイクル (2) 問題発見・解決 「改善対策書」の書き方に関する説明 【演習】 自社(又はケース事例)の問題解決演習(グループワーク) 自社(又はケース事例)における業務について、改善策を検討し、「改善対策書」を作成する。 (3) 生産性改善の事例紹介 自動車関連製造業における生産性改善の事例を紹介する。	2.0
		合計時間	6.0	